

第7回食の安全・安心財団意見交換会



原発事故から1年
食のリスクと風評に
どう向き合ったのか
～安全と安心をつなぐもの～

平成24年3月26日
全国消費者団体連絡会

事務局長 阿南 久

右上の写真は津波に襲われる八戸飼料コンビナート(日ハムさんから拝借)



全国消団連の紹介

- 1956年12月結成
- 第1回消費者大会（1957年）

「消費者宣言」

“消費者大衆こそ経済繁栄の母であり、商業者繁栄の支柱”
“私たち消費者大衆こそ主権者”

消費者のための
地域づくりを
つないでいます！

- 47団体（中央団体24・地方消費者連絡組織23）

＊行政や関係方面への要請

＊情報共有の場づくり ＊調査研究

1993年「環境基本法」、1994年「製造物責任法」、2000年「消費者契約法」、
2003年「食品安全基本法」(食品安全委員会設置)・食品衛生法改正、2004年
「消費者基本法」・「食育基本法」、2006年「消費者団体訴訟制度」、
2007年～消費者行政一元化実現(消費者庁創設)の取り組み

食品安全に関わる今年度の取り組みから

- ホントのことを知りたい！学習シリーズ

「放射性物質汚染と私たちの暮らし その1」 5月12日 62名参加

講師；(独)放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター長 明石 真言氏

厚労省医薬食品局食品安全部監視安全課長 加地 祥文氏



〈参加登録時にいただいた主な質問〉

- * 放射性物質の種類と影響
- * 基準値の決め方
- * 内部被ばく
- * 乳幼児への影響
- * 検査法
- * 減らす方法
- * 水産物汚染

〈当日の質問〉

- * 食物連鎖
- * 制限解除の手続き

〈参加者アンケートより「放射性物質汚染問題の学習会で今後取り上げてもらいたいもの」〉

- * 原発と電力・エネルギー
- * 汚染と食品安全の具体的な考え方やポイント
- * 物理学的半減期、生物学的半減期について牛乳、肉など具体的な食品ごとの内容
- * 魚介類への影響
- * 半減期の長いセシウム等による土壌汚染対策
- * お米、果物、お酒など、今後の農作物への影響
- * 広島、長崎、スリーマイル、チェルノブイリにおける線量変化
- * 事故後の汚染状況の変化など

● **「東日本大震災に関する学習」と「放射性物質汚染問題と私たちの暮らし」
学習**(5/19全国消団連・平成23年度第一回「全体会議」のプログラムとして実施)

★岩手県消費者団体連絡協議会からの報告

事務局長 伊藤 慶子さん

★福島県消費者ネットワークからの報告

事務局長 佐藤 一夫さん

●報告「漁業者の現状について」

全国漁業協同組合連合会漁政部長 大森 敏弘さん

●講演「水産物の放射性物質汚染について」

講師；水産庁増殖推進部研究指導課研究管理官 森田 貴己さん

——1954年ビキニ水爆実験以降の国の取り組みを含めて、放射性セシウムの魚体内での動き方や、
暫定規制値、モニタリング検査などについてお話しいただいた



〈参加者の感想から〉

- * 食物連鎖、魚体の浸透圧などの話から現状の安全性がわかった。報道されている結果だけでなく要因も含めて解説してもらえれば不安も薄れる
- * 長期間放射性物質の測定を続けてきた経験をもとにしたお話には説得力がある。頭や内臓の方がセシウム濃度が高いと思っていたことが逆だったこと、淡水魚の方が体外に排出されるのが遅いことがわかった。
- * 情報をよく見て選択すること、むやみに恐れる必要はないことが分かった。
- * 福島県の方々に対するひどい言動をやめるように。根拠のない風評は否定し、正しい知識を広めるべき。産品購入や旅行などで協力したいと思った。
- * 被災地では今も厳しい避難生活を強いられている。被災地の再生のために被災地の生産物の利用、旅行などできることで協力していかなければいけないと思った。

● 6/7ホントのことを知りたい！！ 学習シリーズ

「食中毒を起こさないために暮らしの中で注意したいこと」

【講師】

社団法人日本食品衛生協会 常務理事 高谷 幸(さとし)さん

同事業部係長 中村 紀子さん

同事業部係長 岡本 愛さん

【感想】

○高谷先生の話は面白かった。○食中毒の分類、予防など詳しくわかりました。教育、啓発の必要性を痛感した。○網羅的かつ詳細な内容で大変為になりました。○とても参考になりました。住民への啓発に役立てたいと思います。○細菌の特性等について学習できた、実践的なことがあると良かった。○食中毒予防の注意点が学べてとても有意義だった。食育の大切を実感。今日の内容をもっとわかりやすく伝える必要があると感じた。○改めて基本的な点を確認できた。○気になっていた食中毒菌の情報の整理ができてよかったです。予防の実践的な方法をまとめていただいて周りの人にも伝えたいと思いました。○食品事故の一番は食中毒ですね。その割に一般の消費者教育はされていないと思います。消費者が相談する窓口は保健所が身近だとは思いますが、もっと「窓口」として明確になっていると相談しやすいです。保健所は事故が起きてしまってから連絡するところ、だと思われています。○改めて勉強になりました。



被災地応援・産地訪問

- “復興とともに！懇親食事会”

主婦会館のレストランの協力を得て被災地の食材を使ったお料理を楽しみました



- 宮城県塩釜(10/12)
- 伊藤園・静岡相良工場訪問(10/14)
- 香川庵冶漁協(10/28)



- 11/2 ホントのことを知りたい！！ 学習シリーズ

「復興とともに！いま私たちにできることを考えてみよう」

- *セーブザチルドレン 東日本大震災復興事業部(こどもにやさしい地域づくり) 津田 知子さん
- *さいたまコープ・参加とネットワーク推進室 地域ネットワーク 部長 福岡 和敏さん
- *日本青年団協議会 事務局長 田中 潮さん
- *陸前高田市青年団体協議会 会長 橋詰 琢見さん
- *内閣官房 東日本大震災復興対策本部 参事官 安東 義雄さん



- 11/21 ホントのことを知りたい！！ 学習シリーズ
「放射性物質汚染問題と私たちの暮らし 2
～安心して食べるために 知っておきたいこと～」

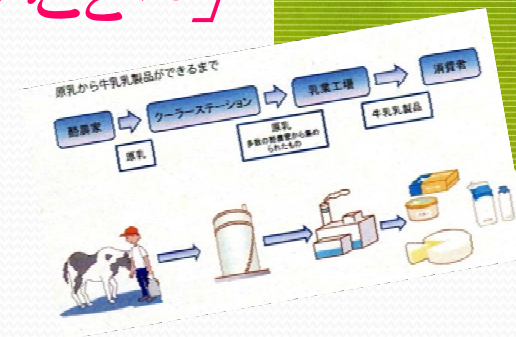
★独立行政法人 放射線医学総合研究所

理事 明石 真言さん

★農林水産省 審議官(消費安全局) 姫田 尚さん

★消費者庁 消費者政策課長 黒田 岳士さん

食品と放射能
Q & A



- 12/3「第50回全国消費者大会」報告とパネルディスカッション1
「被災者を支援し、被災地の復興のために必要なことは何か」

- 液状化現象による住宅被害
千葉・茨城公団住宅自治会協議会袖ヶ浦団地自治会長 佐藤志郎さん
- 放射性物質汚染と福島県民の状況
福島県消費者ネットワーク事務局長 佐藤一夫さん
- 大学生による被災地支援活動
全国大学生協連全国学生委員 富川竜生さん
- 被災地自治体からの報告
陸前高田市長 戸羽太さん
- コーディネーター；NHKエグゼクティブアナウンサー 古屋和雄さん



消費者は、 どこから、どうやって 情報を得ているか？

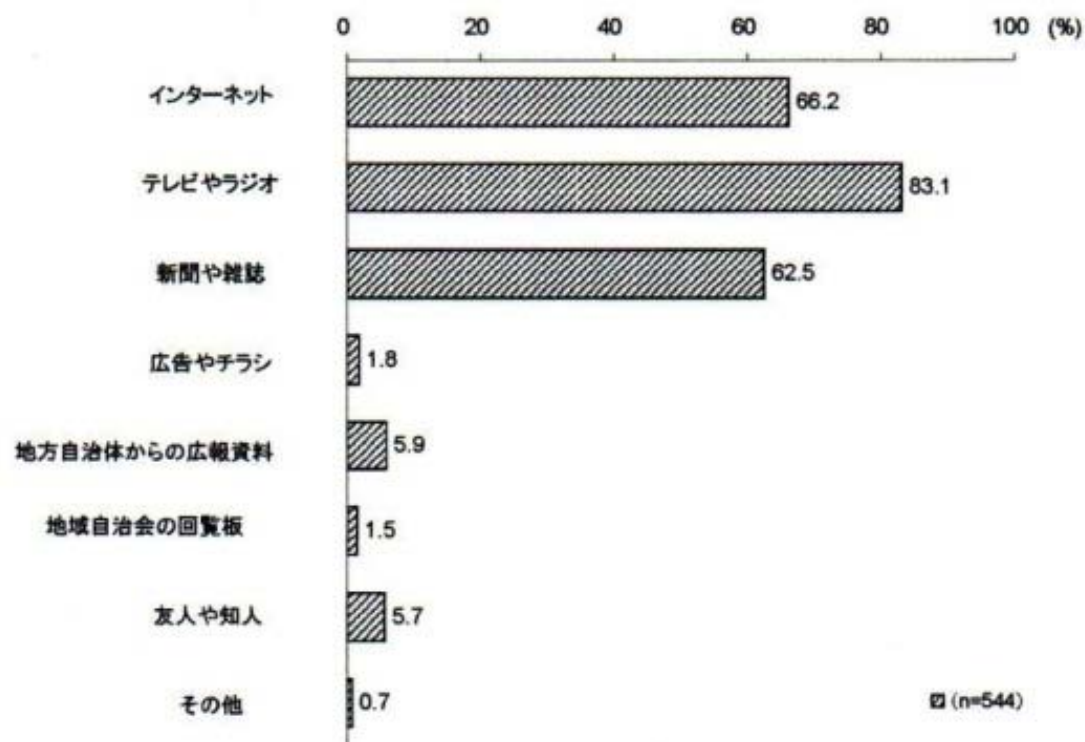
【消費者基本法第7条・消費者の役割】

- 消費者は自ら進んで…必要な知識を習得し、及び必要な情報を収集する等、自主的かつ合理的に行動するよう努めなければならない
- 消費者は消費生活に関し、環境の保全及び知的財産権等の適正な保護に配慮するよう努めなければならない

【消費者庁のインターネット調査(H23 5/30～6/5)】

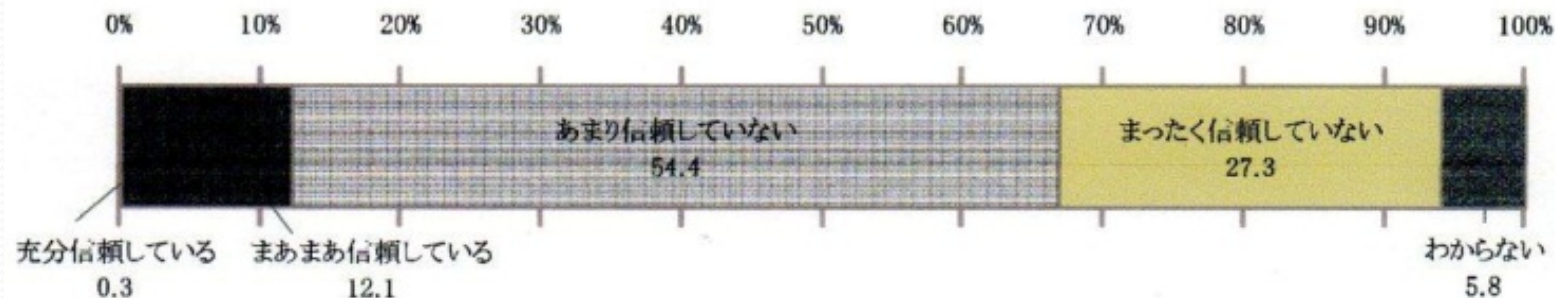
出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得ているか？

▼ 全体では「テレビやラジオ」と回答した方が最も多く 83.1%、次いで、「インターネット」と回答した方が 66.2%、次いで、「新聞や雑誌」と回答した方が 62.5%であった。

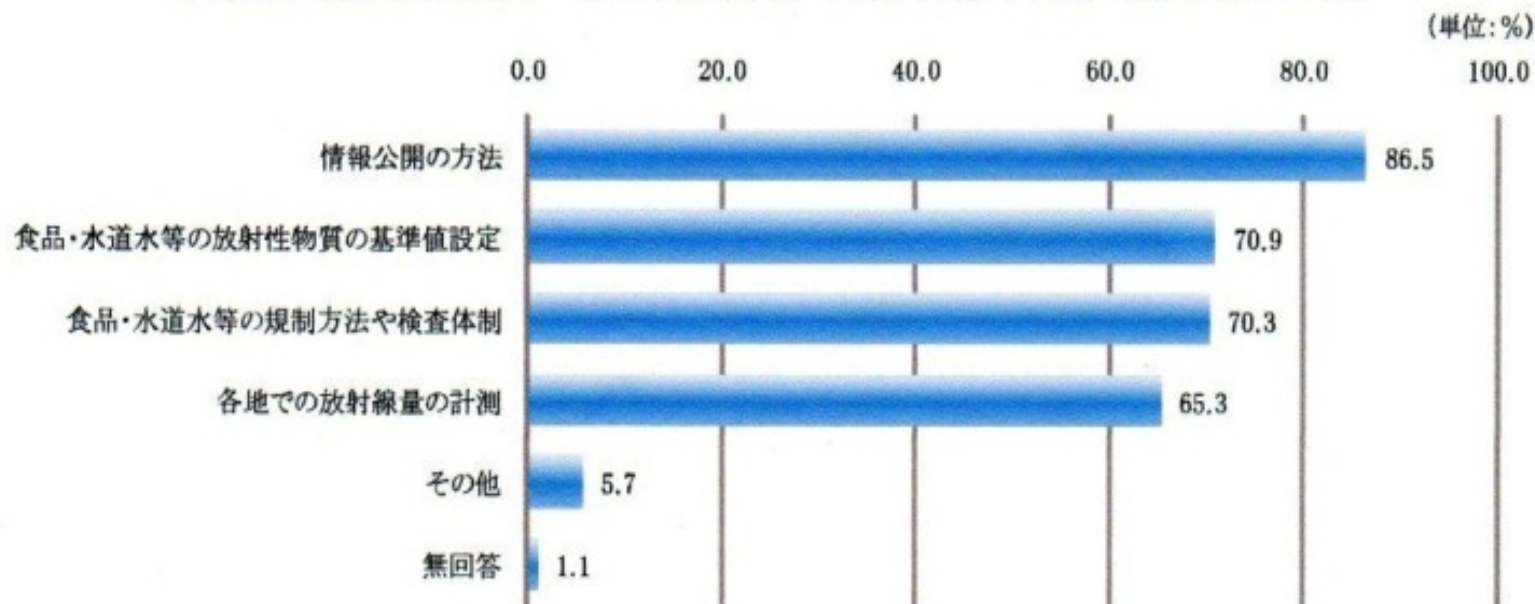


【日本生協連の組合員アンケート調査(H23 7/21~7/26)】
日本生協連・エネルギー政策検討委員会で実施

●問11 東電福島第一原発事故による放射能汚染問題への国の対応についての考え

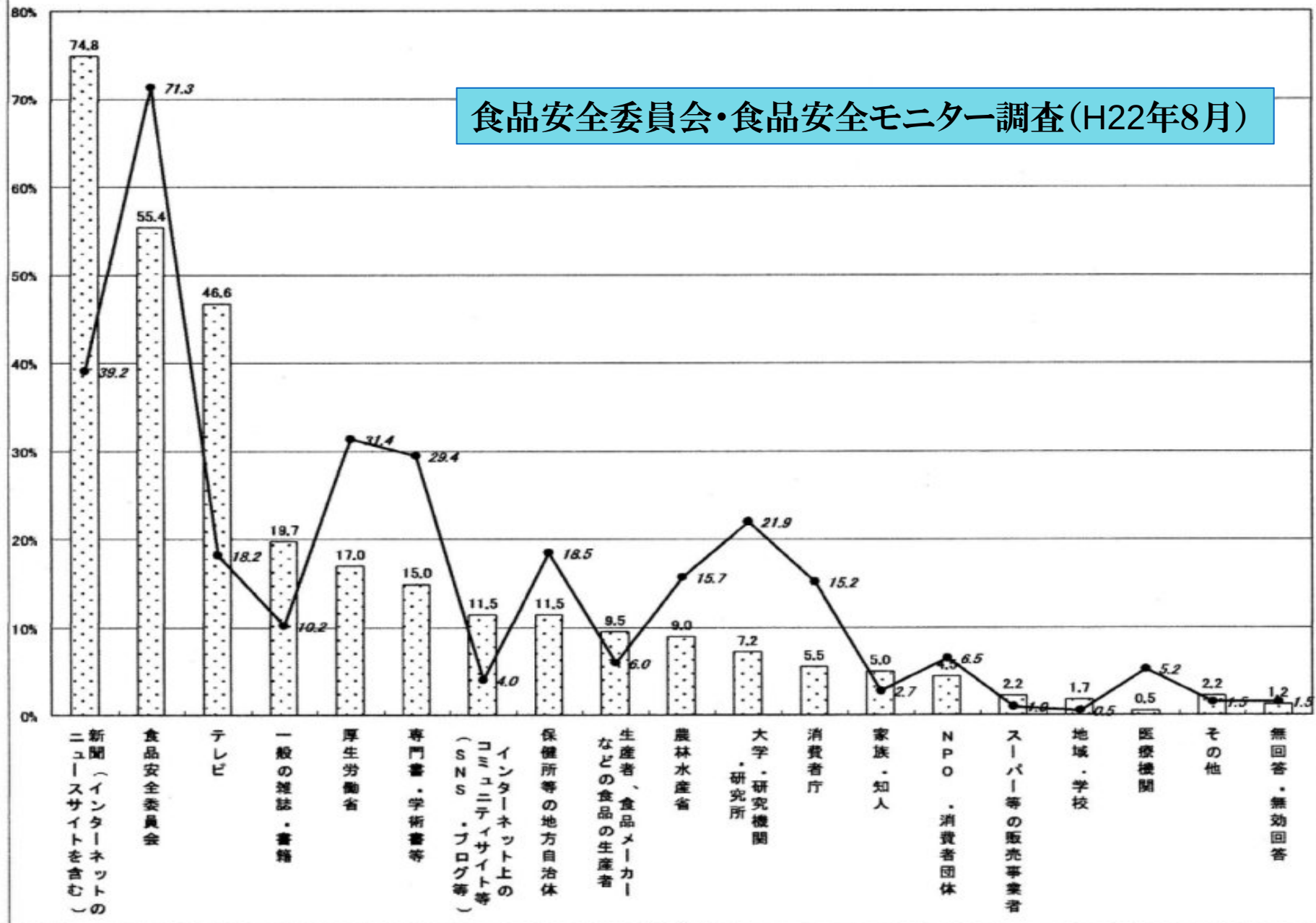


●問12 放射能汚染問題への国の対応について十分でない、適切でないと感じるもの



食品の安全性に関する情報の入手先とその信頼度の比較

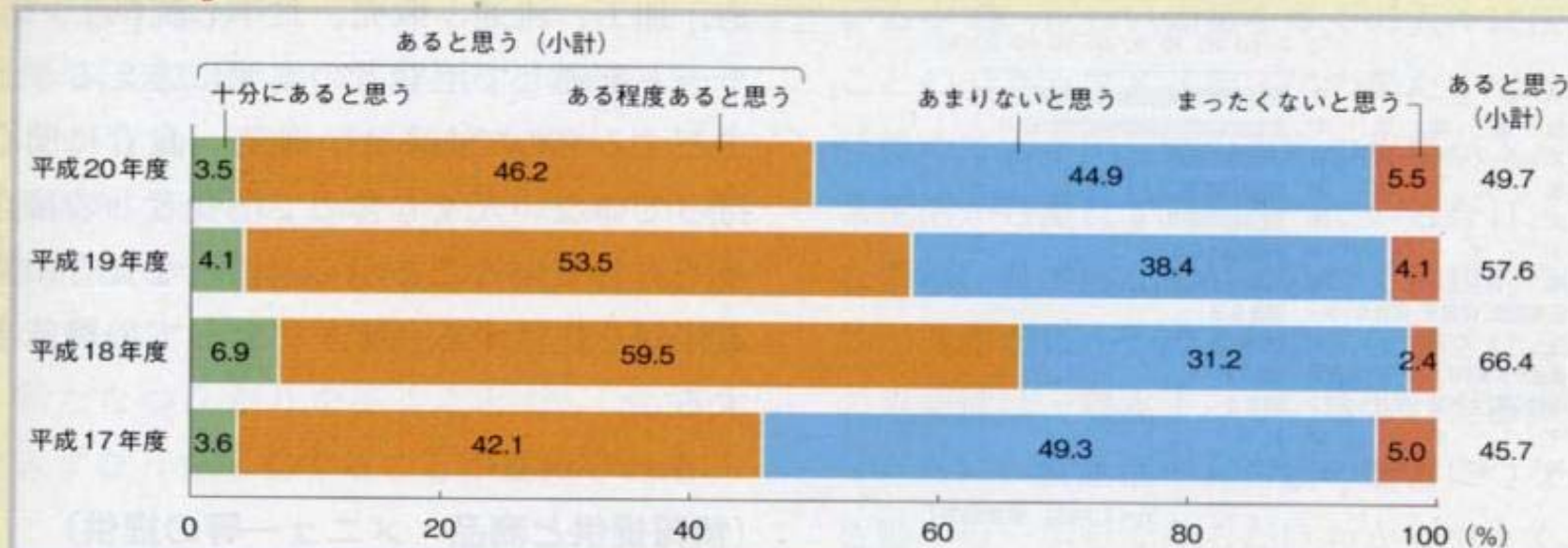
情報入手先 (n=401) 信頼度 (n=401)



食品の安全性に関する基礎知識

- 健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだらよいか、どのような調理が必要か

図表…25 食品の安全性に関する基礎的知識があるとする国民の割合



資料：食品安全委員会「食品安全確保総合調査」(平成20年度)

情報発信と啓発の役割はどこに？

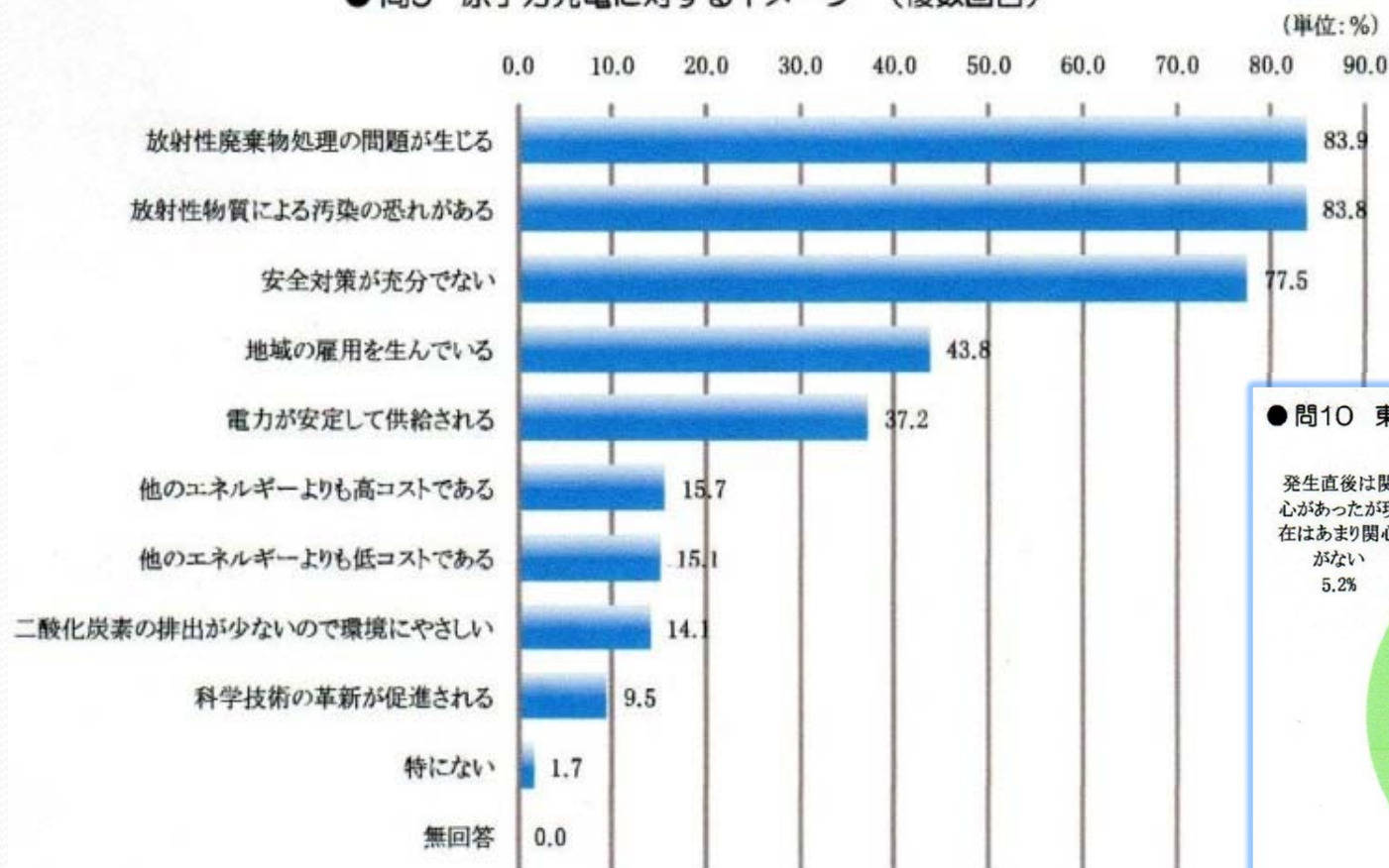
【消費者基本法】・【消費者安全法】

- **国と地方自治体**；消費者政策の推進、啓発・広報・教育、情報収集・提供、消費者事故情報の集約分析と結果公表
⇒関係省庁(経産・厚労・農水・環境ほか)、消費者庁、国民生活センター、地方自治体、消費者センター
- **事業者・事業者団体**；*消費者の安全と取引の公正 *情報提供 *消費者の知識・経験・財産状況への配慮 *苦情処理 *国・地方公共団体への協力 *環境保全への配慮 *自主基準作成と信頼確保 *苦情処理 *自主基準作成支援や自主的な活動
- **消費者団体の役割**；消費者団体は消費生活に関する情報の収集及び提供並びに意見の表明、消費者に対する啓発及び教育、消費者の被害の防止及び救済のための活動その他の消費者の消費生活の安定及び向上を図るための健全かつ自主的な活動に努めるものとする。

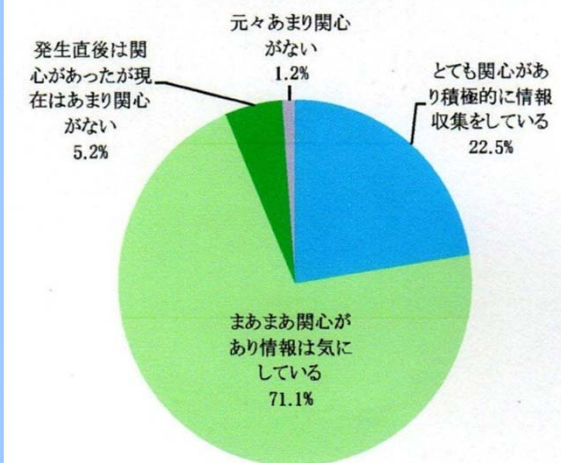
【参考1】 日本生協連・組合員アンケートより

日本生協連「エネルギー政策検討委員会」(2011年5月設置)答申に向けて実施(7/21~26「くらしと商品に関するインターネットモニター」対象。**2,351件の回答**。

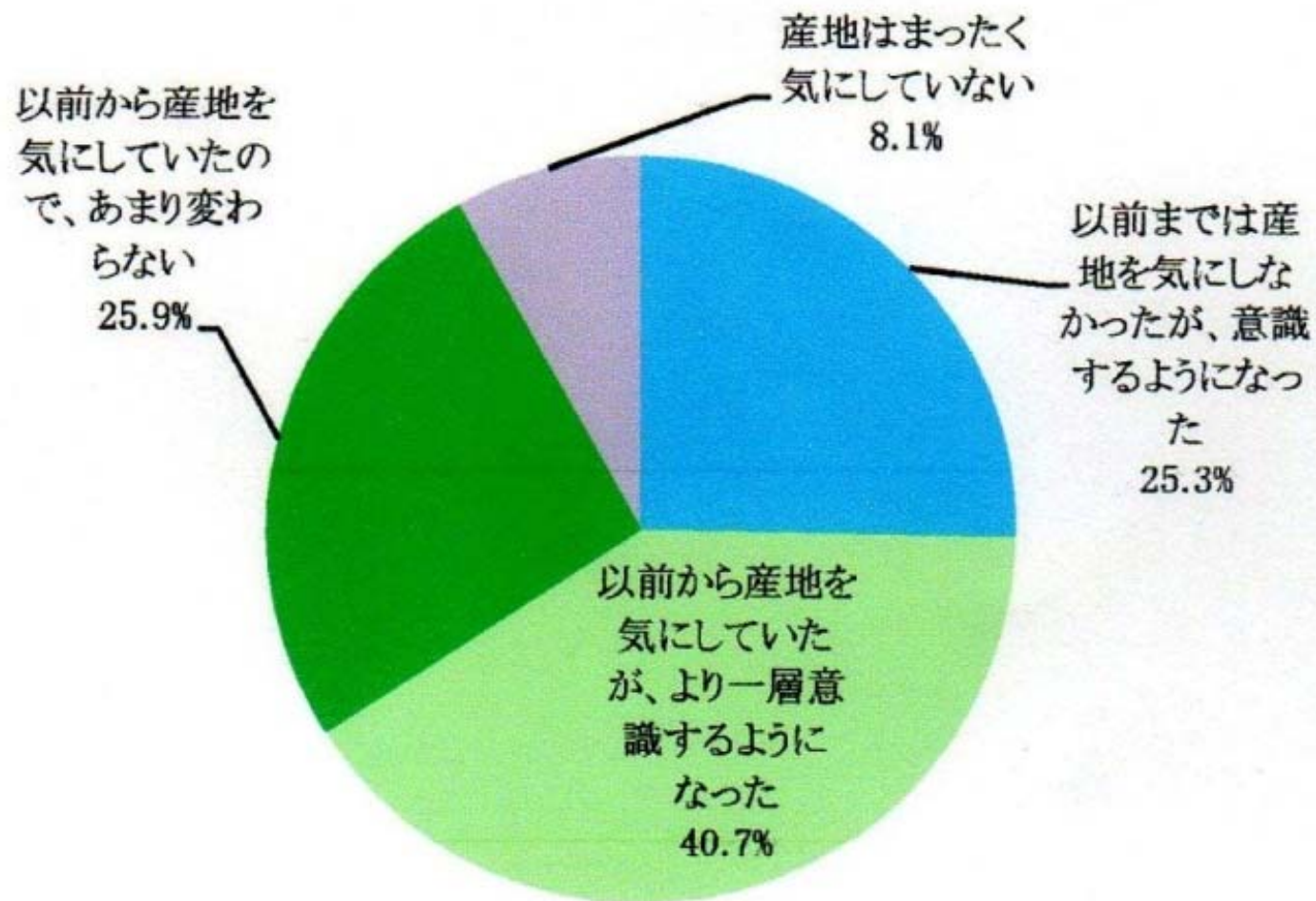
● 問9 原子力発電に対するイメージ (複数回答)



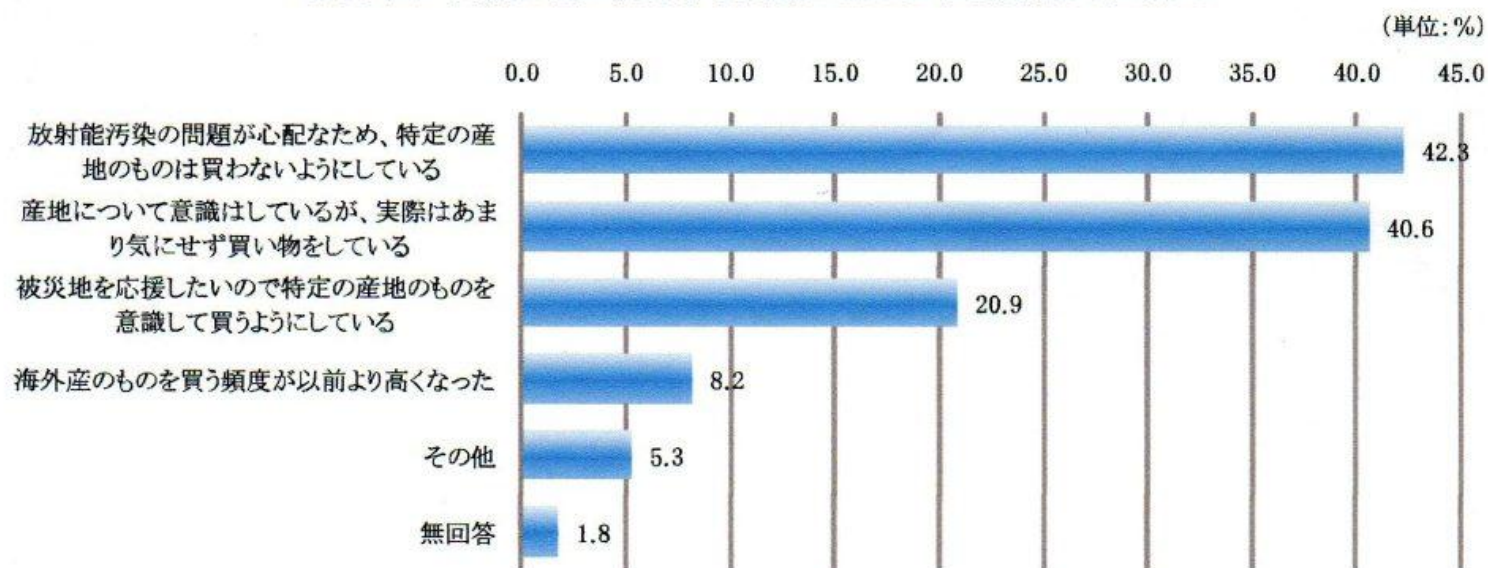
● 問10 東電福島第一原発の事故についての考え



● 問13 東電福島第一原発事故後、食料品を買う時に産地を気にするようになったか



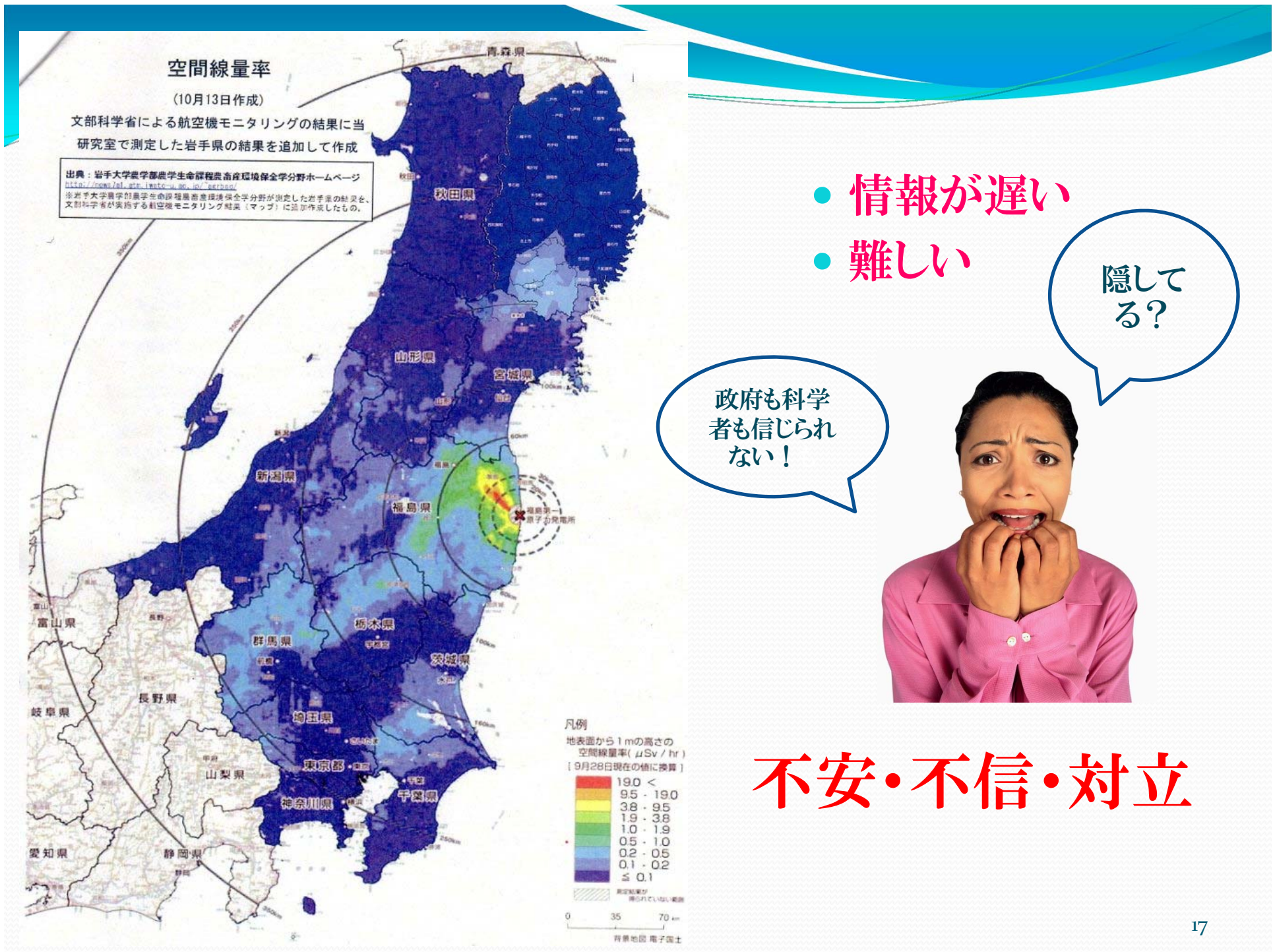
● 問14 実際の買い物をする行動にどのような変化があったか



■ 末子年齢別

(単位: %)

		回答者 (人)	被災地を応援したい ので特定の産地のもの を意識して買うよう にしている	放射能汚染の問題 が心配なため、特定 の産地のものは買わ ないようにしている	海外産のものを買う 頻度が以前より高く なった	産地について意識 はしているが、実際 はあまり気にせず買 い物をしている	その他	無回答
末子年齢	合計	2160	20.9	42.3	8.2	40.6	5.3	1.8
	1歳未満	78	14.1	51.3	14.1	34.6	5.1	-
	1～3歳	285	12.6	47.7	9.1	43.9	4.2	1.1
	4～6歳	210	17.1	49	11	37.6	2.4	1.9
	7～12歳	389	17.2	46	8	38.8	5.9	1.8
	13～15歳	190	24.7	39.5	12.1	41.6	5.8	1.1
	15～20歳	256	22.3	32.4	3.5	50.4	4.7	2.3
	20歳以上または子供なし	752	26.3	39.6	7.2	38.3	6.3	2.1



消費者と事業者、行政のいい関係づくり ～どんな情報も“共有”して学び・支えあいたい～

- 率直な不安を出し合い、聞きあう！
- 検査や測定情報は、正直に、すべて提供する！
- 行政や専門家はわかりやすい言葉で、誠意をもって説明する！
- 生産者・事業者とも一緒に学び、考えあう！

もっと
コミュニケーション！



正しく理解する力！

～消費者自身のエンパワメント！～

国際消費者機構（CI）消費者憲章における「消費者の5つの責任」

- ①**批判的意識**：商品やサービスの用途、価格、質に対し敏感で問題意識を持つ消費者になる責任
- ②**自己主張と行動**：自己主張し、公正な取引を得られるように行動する責任
- ③**社会的関心**：自らの消費行動が他者に与える影響、とりわけ弱者に及ぼす影響を自覚する責任
- ④**環境への自覚**：自らの消費行動が環境に及ぼす影響を理解する責任
- ⑤**連帯**：消費者の利益を擁護し促進するため消費者として団結し、連帯する責任

もっと “責任ある消費”！

信頼構築に向けた事業者のエンパワメント

～安全性確保と“説明力”アップ～

- 事業者自らが語る！

⇒コンプライアンス！

⇒“「わが社だけ」意識”を捨て、同業者で規範を共有する！

⇒正直に！正確に！熱意を込めて！

⇒挑戦をアピールする！

- 消費者を信じる！

⇒不安につけ込んで、誤認を誘導しない！

- 行政に協力し、提案する！

⇒情報をつなぐ！ **もっと“責任ある供給”！**



“安全”と“安心”のつなぎ役！

～メディアのエンパワメント！～

- 問題の本質を伝える！

⇒事実と「なぜ？」が大事！

⇒わかりやすく！正確に！熱意(怒り)を込めて！

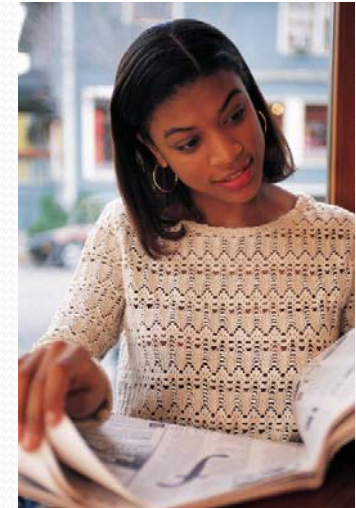
- 消費者に寄りそう！

⇒不安をあおるのではなく、注意喚起する！

⇒“安心”につながる情報を伝える！（あれはどうなったの？）

- 行政に協力し、提案し、意見する！

⇒情報をつなぐ！



もっと“責任ある報道”！

【参考2】消費者庁の施策 情報発信の強化 と活用の促進

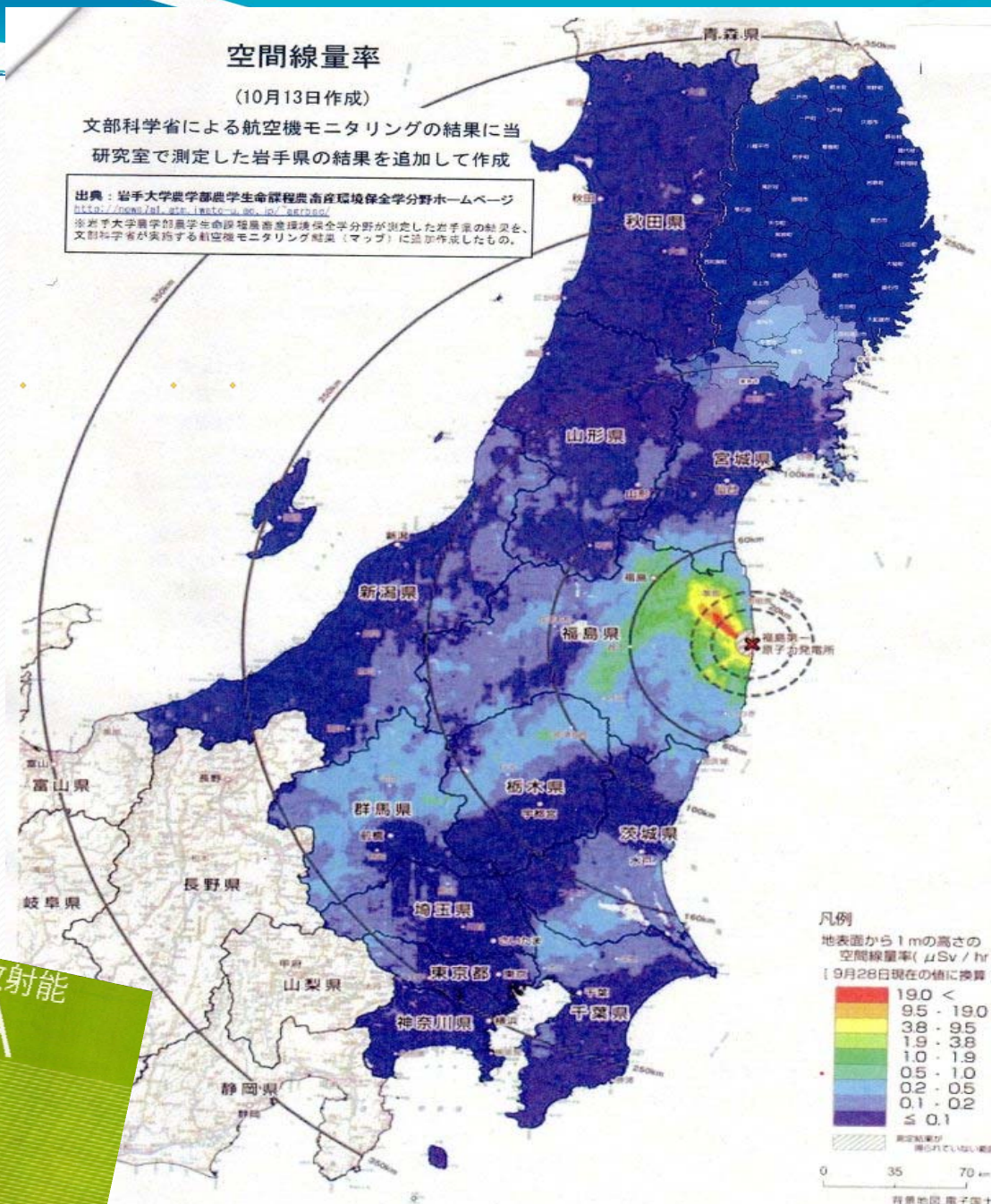
★「放射性物質検査機器」
(166団体から243台申込)

⇒第1次で24台

〈福島14・茨城4・宮城2・
栃木2・岩手1・千葉1〉

※今後第2次で50台、第3次では
100台以上を確保する予定

★「放射性物質」リスクコミュニ
ケーションの強化と情報提供



事業者と消費者の新しい関係

不信・対立



育ちあい！

共有！
共感！



“責任ある供給”！

“責任ある消費”！

そして“協働”



Thank you !